



第 2 回 コメディカルのための認知症対応力向上研修 開催のご案内

今後、認知症の人がますます増えることが予測されています。認知症の人が入院・入所した際に大切なことは、「出来るだけ BPSD を誘発しないこと」です。認知症のケアにおいて時間がかかる重介護状態のひとつは言うまでもなく BPSD ですが、BPSD が誘発されてからも、薬物療法だけでなく非薬物療法によって症状を軽減することができます。また、対応のしかたで BPSD の誘発を予防することもできます。褥瘡や低栄養の予防と同様に、BPSD は起きてからではなく起きる前の対応が重要です。しかし現場ではまだまだ BPSD が「作られて」いる現状があり、医療現場における大きな課題となっています。

そこで、病院・施設において BPSD を誘発しない対応を行なうことができるスタッフの養成を目的に、認知症の人への“対応力”を向上させる研修会を企画いたしました。BPSD を誘発させない良質な慢性期医療を提供していくためにも、本研修への奮ってのご参加をお待ちしております。

【開催概要】

日 程：平成 28 年 11 月 6 日（日） 9：50～17：30

場 所：東京研修センター（日本慢性期医療協会併設）

定員・対象：80名・各病院、施設等で認知症者に対応する看護師と療法士等の医療従事者

＊参加条件として「同一事業所の看護師」の参加が必須です。

参加費：会員 8,000 円 会員外 16,000 円

主 催：日本慢性期医療協会 共催：日本リハビリテーション病院・施設協会

●本研修は、厚生労働省老健局「病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修」に該当致します。

●本研修は、診療報酬上の「認知症ケア加算 1・2」の加算要件を満たすものではありません。

●遅刻・早退・中抜けなどがある場合、修了証書を発行いたしかねます。

【カリキュラム】

9：50～10：00	はじめに 本研修の目的 講師：田中志子（内田病院理事長）
10：00～11：30	基本講義 認知症への対応～診断と治療編～ 講師：熊谷頼佳（京浜病院理事長）
11：30～12：30	昼食&交流（アイスブレイク）
12：30～13：30	グループワーク 1 自院・自施設において「認知症」としか診断がついていない症例を持ちより、その患者さんの認知症タイプには、どのようなケアが適切かグループで話し合う
13：50～15：20	基本講義 認知症への対応～ケアの実際と連携、リハビリ編～ 講師：高野喜久雄（総泉病院名誉院長）
15：30～16：30	グループワーク 2 自分たちは、専門職として認知症の人にどう関わればよいか、関わることによって何がかわるか、だれがかわるかについて、グループで話し合う
16：30～17：15	グループ発表
17：15～17：30	質疑と総評

（ご参加のお申し込みは裏面をご参照ください）